

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	後期高齢者医療事務管理事業				会計	款	項目	大	小
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり			主管課長	横山 友二			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者	意図	後期高齢者の適正な医療給付を図るため。
事業内容	後期高齢者医療制度加入者（被保険者）への資格管理事務（被保険者証などの作成・交付・更新）、保険料徴収事務（保険料納入通知書の作成・送付）、給付事務（高額療養費、葬祭費、高額介護合算療養費等の支給に関する手続）を適正に執行するための事業。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年4月の制度開始以来、被保険者の資格管理、給付申請等の届出の受理、保険証の引渡し、保険料の徴収等後期高齢者医療制度事務全般に係る共通管理事務を実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	被保険者ひとりに対する事業費	208.32	208.80	190.05	
②	被保険者数	15,782	16,523	17,565	人		平均被保険者数
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	後期高齢者医療制度全般に係る事務管理事業であり、被保険者数が増加する中であっても、出来得限りの事務の効率化、経費節減に努めている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 本事業は、後期高齢者医療制度に基づいた事務管理に係る経費であるため、流山市としての取組みや工夫によって、成果等に大きく影響を及ぼすことができない。		
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,631,768	5,777,851	6,172,806			
事業費(b)(円)		3,287,698	3,449,951	3,338,206			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		2,344,070	2,327,900	2,834,600			
人役・職員(人)		0.21	0.21	0.26			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.80	0.80	0.80			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	平成27年度の保険料軽減判定所得の改正等、制度内容の変更に際しては丁寧な説明に努める。また、後期高齢者制度の適正な執行を図るため、国及び県の動向を常に注視し事務を遂行する。	③取組の課題	国・県の動向に注意を払いながら、国保年金課、介護保険課等の関係各課との連携を図り、事務の効率化、サービスの向上に努める。
②今年度(H27)に実施した取組	後期高齢者医療制度は、平成20年4月の開始から6年を経て定着しつつあるが、新規加入者等被保険者への制度内容等の正確かつ具体的な説明に努めた。	④今後の改善計画	平成28年度の保険料率等の改定を含め、制度内容の変更に際し、被保険者に対する丁寧な説明、関係各課と連携した適正な事務の執行に努める。